

プロジェクト 「家」

● 身近な生活環境のことは

家とは、全ての人にとって不可欠なものであり、最も身近な生活環境です。幼児にとって身近な所から徐々に遠くの生活環境を探索できること、そして、その名前を知ることが大切です。最初は家の外からはじめ、家の中の探索へと進みます。色々な部屋には何があり、そこで何をするのかを知ります。年長クラスでは、慣れた家から見知らぬ家へと関心を広げ、引っ越しなどを通じて、自分や物を新しい環境へと移動させます。

どのような家を出発点として選ぶかは、実際に子どもたちが住んでいる環境に近いものが良いでしょう。

● クラステーマ

このプロジェクト「家」は、発達領域「言葉の発達」が中心になります。

3歳児 「ぼくとわたしの家」

4歳児 「色々な部屋」

5歳児 「お引越し」

● 獲得したい概念

3歳	4歳	5歳	概 念
●			家・屋根・窓・壁・ドア・ドアベル・住む・開ける・閉める・中・外
●	●		集合住宅・部屋・庭・テーブル・椅子・ベッド・トイレ・遊ぶ・寝る 食べる・洗う
	●		居間・こども部屋・寝室・台所・洗面所・シャワー・風呂・トイレ 選ぶ・料理する
	●	●	テレビ・電話・ソファ・戸棚・階段・廊下・地下室・上の階・下の階 照明器具
		●	引越し・新しい・古い・箱・荷造りする・運ぶ・トラック・もの・空っぽ いっぱい・リフォーム(改装)
		●	悲しい・うれしい・お隣さん・庭・地下室・重い・塗る・掃除する

※ 上記の概念は一例として考えて下さい。別のアプローチに変更することで、使われる言葉が異なるとおもうのです。その場合も、上記表のように、どのような言葉を獲得できるのかを保育者は見当をつけておくことが大切です。常に意識することは「生活環境の言葉」です。